

1 学校経営計画

(1) 学校教育目標

「皆と共に 心豊かに たくましく 生きる力を育てる」

「皆と共に」	⇒自他を認め、尊重し合い、積極的に社会参加を目指す児童生徒	} 目指す児童生徒の姿
「心豊かに」	⇒感動する心を持ち、自分らしく持てる力を精一杯発揮する児童生徒	
「たくましく」	⇒命を大切にたくましく生き、主体的に学ぶ児童生徒	

「生きる力を育てる」⇒児童生徒の可能性を最大限に伸長していく。

(2) 目標具現化の柱

【安全・安心】

- ア 人を尊重する高い倫理観を持ち、児童生徒の「人権」を守る。
- イ 危機管理を徹底し、行動力を磨き、安全に学習できる環境を作り、児童生徒の「命」を守る。
- ウ 考えや意見の建設的な伝え合いや相談しやすい環境をつくり、働きがいのある職場づくりに努める。

【指導】

- エ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現できる授業実践に取り組む。
- オ 児童生徒の教育的ニーズに応じ、確かな成長・発達を支える専門性の向上を図る。

【連携】

- カ 地域資源を活用した学習や交流及び共同学習の充実を図り、各活動の地域への発信を促進する。
- キ 共生社会の実現を目指し、保護者、関係機関、地域との連携、協同体制の充実を図る。

(3) 本年度の取組

【安全・安心】

		取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
安全部	ア	キラリ＆ホットの視点に基づいた生徒指導の推進	・キラリ＆ホットの視点の浸透を推進し、教職員に求められる倫理観や人権感覚を高めるための機会を設ける。 ・縦割り活動や児童生徒会活動を通して、児童生徒が持ち味を生かして自己表現したり、認め合えたりする場面を設定する。	・キラリ＆ホットの視点を意識して人権を尊重した言動を行うことができた職員100%	生徒指導課
	イ	安全な医療的ケアを実施するための環境づくり	・医療的ケアに関する情報を、社会情勢や他分掌の取組等と関連させ、医療的ケア研修や掲示等で発信する。	・医療的ケアに関心をもったり、安全に医療的ケアを実施したりすることができた職員100%	医療的ケア課
		安全で健康的な学校生活をおくるための環境づくり	・キラリ＆ホットやヒヤリ＆ハットの情報をもとに日常生活における健康管理の視点を発信する。	・提示された情報をもとに日々の学校生活に潜む危険に注意を向けることができた職員90%以上	保健課
		将来の豊かな生活に向けた計画的な食育の推進	・食育の視点を反映させた年間指導計画の作成と、実施の推進を促す。	・年間を通して、児童生徒の食への興味関心を広げる取組を行うことができた職員90%以上	給食課
		災害時、非常時における判断力、行動力、連携の向上につながる訓練・研修・振り返りの充実	・防災・防犯に関する外部機関とのつながりを維持し、連携体制を確認したり助言を受けたりして災害時、非常時の対応力の向上を図る。 ・災害時や非常時を具体的に想定した図上訓練や実地訓練を行い、現状の防災、防犯体制の改善点を見出すとともに、防災課員が主導し、学部の教職員が災害時、非常時の最善の判断や行動について考える機会を設ける。	・自らの立場や役割の中で、あり得るリスクとリスク回避の行動を考えることができた職員90%以上	防災課

		児童生徒の実態に合った、安全で生活しやすい環境づくり	・学習内容や児童生徒の頑張りが分かる掲示を行う。 ・職員間で情報共有できるよう、地域支援連携課や図書表現課が担当する作品掲示の情報を提供する。 ・異なる視点で安全点検を行ったり、学部作業の際に生活環境の見直しを行ったりするよう促す。	・児童生徒の実態に合った、生活しやすい教室環境を整えることができた職員100%	総務課
	ウ	自分の考えや意見を安心して発言できる環境づくり	・職員同士の対話や語り合い、価値の共有を主とする会議や研修を適時実施する。 ・業務の見直しや精選を図り、授業や指導支援に関する話し合いの時間を確保する。	・話し合いにおいて、自身の考えや意見を安心して伝えられていると実感できた職員100%	主事会 チーム学校

【指導】

		取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
指導部	エ	「他者の考えから新たな視点や気づきを得て、自身の考えを広げ深める」という学びのある授業実践、生活指導	・児童生徒の協働的に学んでいる姿や、それを引き出す指導、支援について説明できるよう、学部研修を運営する。 ・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる校内の授業実践や外部の実践例を紹介する。	・個別最適な学びのさらなる充実と、協働的な学びを意識した授業づくり、生活指導を行うことができた職員90%以上	研修課
		ICTをツールとして活用する授業実践、生活指導	・各グループの授業づくりへの直接的介入等による助言を行う。 ・目的に応じてICTを効果的に活用している校内の授業実践や外部の実践例を定期的に紹介する。	・ICTをツールとして活用した授業実践を行った職員100%	情報教育課
		他者と協働したり自分の考えを伝えたりする等、保健体育の見方・考え方で	・校内での充実した授業実践の紹介や外部の実践例の定期的な紹介 ・体育器具やICT等、効果的なツールの提案	・保健体育の見方・考え方で育成を目指す資質・能力を育む授業実践を行うことができた、または授	体育課

		育成を目指す資質・能力を育む授業実践		業実践の価値を答えることができた職員90%以上	
	オ	各教科等で育む資質・能力の育成を支える自立活動の指導の実施	・学習会や巡回指導で学んだ内容の、教科等での生かし方を、学年やグループに提案していく。	・自立活動の視点での学びを教科等の授業実践で生かすことができた職員90%以上	自立活動課

【連携】

		取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
連携部	カ	地域資源を活用した学習や、地域の学校との関わりの推進と学びの効果の発信	・「地域とつながる授業実践シート」を活用し、地域資源を紹介する。 ・作品づくりの参考となるよう、作品展での感想を共有する。	・地域に発信することを考えて、作品づくりをしたり、つながりを実感したりすることができた職員90%以上	地域支援連携課 (図書表現課)
	キ	保護者や関係機関、地域と連携し、課題解決を図る	・特別支援学校のセンター的機能として、他校や市町との関係機関と連携する。 ・学部コーディネーターが連携し、各学部の課題に対してケース会議や教育相談を実施する。	・保護者、関係機関、地域との連携を図ることができたり、連携していることを知ったりすることができた職員80%以上	地域支援連携課 (学部コーディネーター)
		地域との連携等を意識した個別の教育支援計画の作成計画の実施	・個別の教育支援計画について、研修や目標評価確認日等を活用して理解を深め、面談等を通じて本人、保護者と共に内容の充実を図る。 ・個別の教育支援計画の円滑なデータベース化と関係機関と共有すべき情報の精選を図る。	・連携することを意識して個別の教育支援計画を作成することができた職員80%以上	教務課
		現在や将来の豊かな生活を目指すための関係機関との連携を図る	・研修の事前・事後アンケートを取り、計画・運営し、研修後の支援・指導に活かせるようにする。 ・教務課と連携し、「目標・評価確認日」に各学部で生活面が気になる児童生徒やその家庭について	・関係機関との連携や関わりから、児童生徒の現在や将来の豊かな生活を目指し、支援・指導することができた職員90%以上	進路指導課

			て、校内の関係者で話し合い、必要に応じてケース会議につなげる。 ・必要な情報を進路コーナーや進路便り、掲示板、HP を活用して紹介する。		
		社会とつながる教育活動の充実	・「おはなしの会」や読み聞かせ、電子図書の活用等、読書活動の推進を行い、児童生徒の好きな本を校内や地域に発信する。 ・作品展への出展、ホームページ上での作品紹介を行うとともに、校内外の鑑賞教室の計画や紹介を行い、地域の方から感想をもらうなどの交流を企画する。	・図書館での図書紹介や各種作品展をとおして社会と関わることができたといえる職員90%以上	図書表現課

※ 成果目標のパーセンテージ（％）は、A・B評価をあわせた数値